

令和4年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・既習事項や生活体験を根拠にして、問題の予想を立てることができる。
- ・実際に植物や生き物を育てる経験を増やすことで、自然事象や科学事象に興味・関心を高めることができている。

(2) 課題

- ・実験や観察の結果を基にして、考察することに課題がある。
- ・理科用語は理解しているが、考察やまとめに活用できていない児童が見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ○教科の正答率は、概ね目標値、全国平均正答率を上回っている。 ○観点別正答率では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」が目標値、区平均、全国平均正答率を上回っている。 ○内容別正答率では、全ての内容で正答率を上回った。 ○前年度校内平均正答率と比較すると、0.7ポイント低い。 	/	/
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ○教科の正答率は、概ね目標値、区平均、全国平均正答率を上回っている。 ○観点別正答率では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」が目標値、区平均、全国平均正答率と同じか、上回っている。 ○内容別正答率では、「1年間の植物の成長」で1.6、「月と星」で1.7、「雨水のゆくえと地面の様子」で1.8、 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科の正答率は、概ね目標値を上回っている。内容別正答率を見ると、「昆虫の育ち方」「電気の通り道」で全国平均正答率を下回った。 	/

	<p>「自然の中の水」で 2.8ポイント全国平均 正答率を下回った。 ○前年度校内平均正答率 と比較すると、5ポイン ト程度低い。</p>		
第6学年	<p>○教科の正答率は、概ね目 標値、区内平均、全国平 均正答率、全て上回って いる。 ○観点別正答率では、「知 識・技能」「思考・判断・ 表現」「主体的に取り組 み態度」が目標値、区平 均、全国平均正答率と同 じか、上回っている。 ○内容別正答率は、「流れ る水のはたらき」につい ては、目標値を3ポイン ト下回っており、全国平 均からは6ポイント下 回っている。 ○前年度校内平均正答率 と比較すると、2ポイン ト上回っており、活用は ほぼ同じ値だった。</p>	<p>○教科の正答率は、概ね 目標値を上回っている。 「1年間の動物の様 子」「物のあたたまり 方」のみ、目標値を下 回った。 ○全国平均と比べると、 全ての項目で正答率を 上回っている。</p>	<p>○教科の正答率は、概ね 目標値、区平均、全国 平均を上回っている。 ○領域別で見ると、「自 然事象についての知 識・理解」が目標値、 区平均、全国平均を若 干下回っており、前年 度も同様に下回って いる。</p>

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○目標値、区平均、全国平均を上回っており、概ね良好と思われる。	○目標値、区平均、全国平均を上回っており、概ね良好と思われる。	○目標値、区平均、全国平均を上回っており、概ね良好と思われる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○目標値、区平均、全国平均を上回っており、概ね良好と思われる。 ○第5学年は、前年度校内平均正答率より3ポイント下回った。	○目標値、区平均、全国平均を上回っており、良好である。 ○第5学年は、前年度校内平均正答率より8ポイント下回った。	○目標値、区平均を上回っており、良好である。 ○第5学年は、前年度校内平均正答率より6ポイント下回った。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○実験のやり方や観察の仕方を教科書や ICT を活用して、具体的に理解できるようにする。 ○学習した理科の用語を活用して自分の考えを書かせたり、まとめさせたりすることで、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○理由を明確にして実験の予想を書かせる。また、予想と比較して結果から考えられることをまとめられるようにする。 ○絵や表、グラフなどを活用して結果をまとめる方法を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT を活用して学習の導入を工夫する。 ○教室掲示や理科室の環境を整えることで、学習への意欲を高められるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○実験手順や観察の視点を、教科書や ICT を活用し、具体的に理解できるようにする。また、一人一人が実験器具の操作や観察を十分できるように時間を確保することで、知識・技能の定着を図る。 ○単元ごとに、重要な用語の意味を確認し、理科用語を活用して学習を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○結果を絵や表、グラフ等を活用してまとめ、考えを説明し、表現する力を高められるようにする。 ○予想と結果を比較することで、現象に対する科学的な見方や考え方ができるよう指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT を活用して学習の導入を工夫する。 ○花壇の環境や理科室の実験器具の整備、充実を図ることで、学習への意欲・関心を高められるようにする。